

## 長寿者番付

(平成22年9月30日現在・敬称略)

| 順位 | 氏名     | 満年齢 | 順位 | 氏名     | 満年齢 |
|----|--------|-----|----|--------|-----|
| 1  | 芳賀 輔宗  | 102 | 27 | 円谷 政男  | 92  |
| 2  | 石井 ウメノ | 101 | 28 | 生田目幸次郎 | 92  |
| 3  | 関根 ミツ  | 100 | 29 | 蛭田 寛   | 91  |
| 4  | 湯坐 ハツ  | 97  | 30 | 関根 マツミ | 91  |
| 5  | 関根 スエ  | 96  | 31 | 松本 啓   | 91  |
| 6  | 松本 トメ  | 96  | 32 | 関根 トミエ | 91  |
| 7  | 棚井 イツ  | 96  | 33 | 松本 一郎  | 91  |
| 8  | 佐藤 キクイ | 96  | 34 | 藤田 ハマ  | 91  |
| 9  | 矢吹 テル  | 96  | 35 | 芳賀 高   | 90  |
| 10 | 佐藤 キク  | 95  | 36 | 岡部 初男  | 90  |
| 11 | 赤坂 ツ子  | 95  | 37 | 棚井 イノ  | 90  |
| 12 | 森 キクヨ  | 95  | 38 | 鈴木 ムツ  | 90  |
| 13 | 宗田 ユキ  | 94  | 39 | 藤田 富久代 | 90  |
| 14 | 藤田 卓三  | 94  | 40 | 橋本 イン  | 90  |
| 15 | 星 弘    | 94  | 41 | 中川西 茂  | 90  |
| 16 | 鈴木 ミサオ | 94  | 42 | 芳賀 トミキ | 90  |
| 17 | 関根 廣美  | 94  | 43 | 岡部 セン  | 90  |
| 18 | 湯坐 フチイ | 94  | 44 | 矢吹 邦廣  | 90  |
| 19 | 青戸 テル  | 94  | 45 | 菊地 留吉  | 90  |
| 20 | 鷺野谷 満  | 93  | 46 | 前田 テル  | 90  |
| 21 | 本多 清一  | 93  | 47 | 佐藤 ヤス  | 90  |
| 22 | 矢吹 勝藏  | 93  | 48 | 蛭田 セキ  | 90  |
| 23 | 高坂 ミチ  | 93  | 49 | 田子 正美  | 90  |
| 24 | 溝井 フミ  | 93  | 50 | 大崎 サツ  | 90  |
| 25 | 松本 亨   | 92  | 51 | 須藤 弘美  | 90  |
| 26 | 有賀 直吉  | 92  |    |        |     |

**平** 成二十二年度鮫川村敬老会は九月十八日、村農業者トレーニングセンターで開かれました。

今年は満七十五歳以上の七百九十人(男性・三百三人、女性・四百八十七人)を招待。最高齢は芳賀輔宗さん(江竜田)の満百二歳、次いで石井ウメノさん(中沢)の百一歳となっています。

敬老会では、大樂村長が「幾多

の困難を乗り越えて、村づくりにご活躍されたみなさんに敬意と感謝を申し上げます。健康に留意して長生きをしてください」とあいさつ。米寿、八十歳到達者、金婚夫婦に記念品が贈られたあと、前田村議会議長らが祝辞を述べました。また、鮫川中三年の芳賀重沙美さん(江竜田)と青生野小四年の棚井駿介くん(青生野)、鮫川小六年の宗田真也くん(宿ノ入)が高齢

者に感謝する作文を朗読し、長寿を祝いました。

続いて、アトラクションに入り、ふる里文化芸能クラブや各地区の高齢者支援団体による踊りや劇が披露され、楽しいひとときを過ごしました。

写真：上…アトラクションでは、賑やかに劇などが披露されました／下…記念品の贈呈を受ける参加者



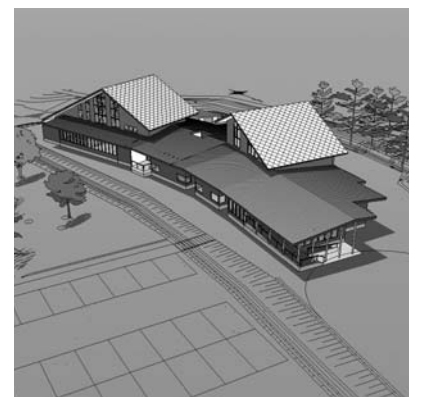
## 平成22年度村敬老会 790人の長寿を祝う



くわ入れをする大樂村長

新しい村民保養施設は、平屋建てで延べ床面積が七百八十七・八二平方メートル。概算事業費は、二億九千三百七十九万円で、男女別の浴場とサウナ、大広間と個室五室、軽食ラウンジを完備。また給湯ボイラーの燃料は、村バイオマスヴィレッジ構想に基づいた森林資源の有効活用の一環として、薪(まき)ボイラーを導入。来年三月の完成を目指しています。

## 村民保養施設の 建設工事が始まりました



完成イメージ図

**村** 民保養施設の起工式は九月十三日、赤坂東野字広畑地内の建設地で行われました。起工式には村、村議会議員、行政区長、工事関係者など約四十人が出席。神事で大樂村長、工事施行業者らがくわ入れをし、玉ぐしをささげて工事の安全と早期完成を祈願しました。

## 地域医療の現場を体験

地域住民と医学生らが交流



健康状態をチェックする医学生

**地** 域医療体験研修は八月二十七日から二十九日まで、東白川郡内で行われ、医学生が地域医療の現場を体験しました。

地域住民との健康相談などを通じて、医学生に地域医療の大切さや地域の現状を知ってもらおうと県南保健福祉事務所が県南地方で始めて実施しました。福島県立医科大学などの医学生八人が参加。初日は、厚厚生病院、村国民健康保険診療所を視察したあと、医師と地域医療の現状と課題について懇談しました。

二日目は、富田区集落センターで高齢者を対象に健康教室を実施。血圧測定や問診などで健康状態をチェックしアドバイスを行いました。

三日目の研究発表では、健康相談に訪れた高齢者二十九人の通院先や移動手段、所要時間などをまとめ、通院の負担や地域医療体制を確保するために「健康状態を相談しやすい環境をつくる」「かかりつけ医を持つ」「医師を増やす」ことなどが報告されました。